

見方で変わる 七里壁に 築かれた石垣の魅力

～主なポイントを ご紹介します～



注目
ポイント

「石の形と並べ方」(義宣寺)
丸い川原石を斜めに寝かせながらしっかりと組み合わせ、規則正しく丁寧に積み重ねた美しい石垣をみることができます。



注目
ポイント

「防災機能」(神明神社)
川の浸食により形成される河岸段丘の崖は、そのままでは崩れてしまいます。昔の人は、石垣を築いて地形を安定させることで、安心して住むことができたでしょう。



注目
ポイント

「積み上げた石の高さ」(岸の下)
約5～7mの高さに崖に沿って、石を垂直に積み上げています。下から見上げれば、まるで石壁のようです。

旧勝山城下町の
魅力について
インタビュー

日本遺産フェスティバル 開催(予定)

石をテーマにした日本遺産の魅力を多くの方に知ってもらう機会として、フェスティバルの開催を予定しています。
と き▶11月20日(土)・21日(日)
ところ▶本町通り周辺
内 容▶石をテーマとしたワークショップなど

日本遺産の認定は、地域のことを見つめ直す良いきっかけです。
地域の歴史や文化を活かしながら、勝山の良さを一緒に広めていきましょう。



勝山公民館職員
(市民会館前(勝山城跡))



つちカフェ(本町4)
つちや けいこ
土谷 啓子 さん
(みつばち文庫・勝山
おはなしの会代表)

地域で暮らす人々も大切な遺産

次の世代に「勝山で育って良かった、地域が好きだ」という想いをつなげられるのは、地域で暮らす人々の存在が大きいです。それは七里壁などの日本遺産と同様に大切なものだと思います。
カフェや絵本の読み聞かせ、昔話のおはなし会なども地域に暮らす人が、地域に愛着を持つきっかけになってもらえたら、と活動を続けています。
日本遺産フェスティバルなど、地域の活動にできる限り参加していきたいと思っています。



(株)カウベル・コー
ポレーション(福井市)
編集ライター
さいとう りこ
齊藤 理子 さん

思わず撮影したくなる勝山の風景

昨年、日本遺産のモニターツアーに参加し、初めて勝山の町を歩きました。思わず写真を撮ってしまう町並みや風景、建物があり、勝山はこんなに素敵なおとこなんだと感じました。
市外の方が勝山を訪れた時、市民のみなさんに自信をもって地域を紹介していただくと、より一層勝山を好きになると思います。素敵な町並みや風情が残る勝山を、暮らす方たちが楽しむ気持ちで発信してください。



福井県通訳案内士協会
会長
わしだ ともり
鷲田 智恵 さん

自信をもって勝山を世界の人々へ

普段見慣れた景色が日本遺産に登録されたとき聞いたときは驚きましたが、木の文化が主流の日本において、石がテーマの日本遺産はとても興味深く、勝山の歴史や文化を調べると、外国の方にも興味を持ってもらえる可能性は十分にあると考えています。
コロナ禍が収束し、外国の方を案内する機会がきたときは、自信をもって地元勝山のことを紹介していきたいと思っています。